

作成日 2017年 9月 25日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 NU Mcure UV レジューサー
 会社名 都インキ株式会社
 住所 大阪府大阪市鶴見区放出東 1-7-13
 担当部門 技術課
 担当者 中田 敦嗣
 電話番号 06-6961-0101
 FAX 番号 06-6961-0303
 メールアドレス gijutu_nakata@miyakoink.co.jp
 緊急連絡先 同上
 整理番号 Z-131-00

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性
 健康有害性

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 2 A
 皮膚感作性 区分 1 B

環境有害性

水生環境有害性（急性） 区分 2
 水生環境有害性（慢性） 区分 3

上記で記載のないものは分類できない／分類対象外／区分外

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

強い眼刺激
 アレルギー皮膚反応を起こすおそれ
 水生生物に毒性
 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
 取り扱い後は良く手を洗うこと。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
 特別処置(解毒剤の投与など)が必要である。
 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。

廃棄

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託して廃棄すること。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：単一製品
 一般名：エトキシ化(3)トリメチロールプロパントリアクリレート
 化学式：(CH₂=CHCO₂CH₂CH₂OCH₂)₃CCH₂CH₃ CAS No.：28961-43-5

4.応急措置

吸入した場合：被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静にすること。
 皮膚に付着した場合：接触部位を直ちに大量の水でよく洗い流すこと。汚染された作業衣と靴を脱ぎ、再利用する場合は、洗濯すること。
 目に入った場合：直ちに大量の水で目を洗浄すること。
 飲み込んだ場合：無理に嘔吐させず、直ちに医師の診断を受けること。意識がない者には、口から何も摂取させないこと。

5.火災時の措置

消火剤：乾燥薬品、炭酸ガス、泡、水噴霧(冷却用)
 火災時の特有な危険有害性：火災による熱に曝されると当該製品の密閉容器が破裂し、中身が吹き出す恐れがある。
 燃焼することにより、二酸化炭素や有害な有機化合物を生じる可能性がある。
 重合による発熱により、反応を制御できなくなるおそれがある。
 特有の消火方法：安全な場所(保護位置)から消火作業を行うこと。
 火に接している密閉容器は放水によって冷却すること。消火による廃水は、下水管などの水路に排水させないこと。消火器具は使用后、汚染除去する必要がある。
 消火を行う者の保護(保護具等)：消防服、呼吸用保護具を着用すること。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置
 ・屋内の場合、十分に換気すること。蒸気を発生させないこと。

環境に対する注意事項

・漏出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさないよう注意すること。
 ・封じ込め及び浄化の方法・機材：漏出物はクリーンサンドや土、珪藻土、非酸性の粘土などの吸収剤を使用し、適切に表示された容器へ回収すること。

二次災害の防止策

・回収した漏出物の飛散、水路や排水溝、下水道などへの流出を避けること。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策
 ・十分に換気できる場所でのみ使用すること。局所換気装置を設置すること。

安全取扱い注意事項

・蒸気やミストを吸入しないこと。
 ・着衣や皮膚に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用すること
 ・取り扱い後はよく手を洗うこと。
 ・容器を洗浄または廃棄するまでは、表示されている予防対策を順守すること。
 ・製品を加温する場合は、60℃ に設定した恒温槽や恒温室を使用すること。バンドヒーターや蒸気での加温は避けること。24 時間以上加温し続けないこと。

保管 適切な保管条件

・直射日光を避け、0 - 38℃ 下で密封し冷暗所に保管すること。
 ・容器の破損やその後の中身の漏出を防げるような安全な場所で保管すること。
 ・品質保持期限(受領後 6 ヶ月)以上保管しないこと。

安全な容器梱包材料

- ・密閉できる包装材料を使用すること。

8.曝露防止措置

管理濃度 : 規定なし

許容濃度 : 規定なし

設備対策 : 局所排気装置を設置すること。取扱い場所の近くに洗身シャワーや手洗い、洗眼設備を設けることが望ましい。

保護具 呼吸器の保護具 : ばく露の可能性や許容濃度を超えるような場所では、適切な呼吸用保護具を着用すること。

皮膚の保護具 : 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない作業着や手袋等を着用すること。天然ゴム製の手袋の使用は避けること。

目の保護具 : 保護眼鏡を着用すること。

9.物理的及び化学的性質

物理的状态 : 液体(常温)

形状 : 液体

色 : 透明、淡黄色

臭い : アクリル臭

pH : 約 7

沸点 : データなし

融点 : データなし

凝固点 : データなし

引火点 : 引火点なし(タグ密閉式、クリーブランド開放式)

発火点 : データなし 爆発限界 下限 : データなし 上限 : データなし

蒸気圧 : 0.0032 Pa(20℃、OECD TG 104)

相対蒸気密度(空気=1) : データなし

比重/密度 : 1.100 - 1.106(25℃)

溶解性

水 : ほとんど溶けない

その他の溶媒 : エーテル類、ケトン類に可溶

n-オクタノール/水分配係数 : $\log K_{ow} = 2.89$ (23 °C、OECD TG 107)

分解温度 : 182.01 °C

臭いの閾値 : データなし

蒸発速度 : データなし

揮発性 : データなし

燃焼性 : データなし

粘度 : 50 - 75 mPas(25 °C)

10.安定性及び反応性

安定性 : 安定 危険有害反応可能性 : 光、特に紫外線が当たると重合硬化することがある。

避けるべき条件 : 熱源、火元近くでの保管、直射日光、紫外線

混触危険物質 : 強酸化剤、ラジカル開始剤、不活性ガス、脱酸素剤

危険有害分解生成物 : 燃焼により中毒性のガス、一酸化炭素、二酸化炭素を発生する恐れがある。

11.有害性情報

急性毒性 : 経口 危険有害性なし

LD₅₀ > 2,000 mg/kg (rat, OECD TG 401)

GHS 分類区分外

経皮 危険有害性なし

LD₅₀ > 2,000 mg/kg (rabbit)

GHS 分類区分外

吸入 データなし

皮膚腐食性/刺激性 : 皮膚刺激性なし(rabbit, OECD TG 404)

GHS 分類区分外

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性

: 眼刺激性あり (rabbit, OECD TG405) GHS 分類区分 2 A

呼吸器感作性

: データなし

皮膚感作性

: ビューラーモルモット試験 (OECD TG406), マウスを用いた局所リンパ節試験 (LLNA, OECD TG429) において、弱い感作性がみられたので、GHS 分類区分 1 B とした。

生殖細胞変異原性

: in vitro で Ames 試験 (OECD TG471)、in vivo での小核試験 (OECD TG474) において、いずれも陰性であったので、GHS 分類区分外とした。

発がん性

: マウスを用いた 94 週間の経皮試験において陰性という報告があるが、十分なデータがないので、GHS 分類できない。

生殖毒性

: ラットを用いた経口投与による試験において、生殖能や胎児発達への影響は見られなかったため、GHS 分類区分外とした。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

: データなし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

: データなし

吸引性呼吸器有害性

: データなし

1 2. 環境影響情報

魚類 : LC50= 1.95 mg/L (96 h, Danio rerio, OECD TG 203)

甲殻類 : EC50= 70.7 mg/L (48 h, Daphnia magna, OECD TG 202)

藻類 : EC50= 2.2 mg/L (72 h, Desmodesmus subspicatus, OECD TG 201)

EC10= 0.3 mg/L (72 h, Desmodesmus subspicatus, OECD TG 201)

残留性/分解性 : 易分解性 60 % (28 d)

生体蓄積性 : Log Kow = 2.89 (23 °C, OECD TG 107)

土壌中の移動性 : Log Koc = 2.2 (25 °C, OECD TG 121)

水生環境有害性 : これらの結果より、急性区分 2、慢性 (長期間) 区分 3 とした。

オゾン層への有害性 : モントリオール議定書の付属書に列記された規制物質は含有していない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 適切な施設で焼却によって処理するか、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等の排出は凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4. 輸送上の注意

当該製品は国際規制や国内規制等で規定される輸送時に危険な物質は含有していません。

特別の安全対策 : 直射日光を避けて輸送する。輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒・落下・破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法 : 該当しない

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)

: 該当しない

毒物及び劇物取締法 : 該当しない

消防法 : 非危険物 船舶安全法 : 該当しない

港則法 : 該当しない 航空法 : 該当しない

海洋汚染防止法 : 該当しない

大気汚染防止法 : 該当しない

水質汚濁防止法 : 該当しない

外国為替及び外国貿易法 : 輸出貿易管理令別表第 1 の 16 の項

特定有害廃棄物輸出入規制法 : 該当しない

水道法 : 該当しない

下水道法 : 該当しない

NITE 化学物質総合情報提供システム (CHRIP) 及び日本ケミカルデータベース株式会社の法規制検索サイトでの検索結果を基に記載

1 6. その他の情報

引用文献/データベース : 既存化学物質一覧 化学工業日報社

化学物質総合検索システム (独) 製品評価技術基盤機構 安全衛生情報センター (JAISH)

中央労働災害防止協会 化学品かんたん法規制チェック Web 日本ケミカルデータベース編

European Chemicals Agency (ECHA) Database

製品安全データシートの作成指針 (改訂版) (社) 日本化学工業協会

問合せ先

担当部門 生産部 技術課
電話番号 06-6961-0101 FAX 番号 06-6961-0303
メールアドレス gijutu_nakata@miyakoink.co.jp

- * 「安全データシート」の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や、新しい知見により改訂されることがあります。
本製品を取扱う場合は、記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じて下さい。
本データシートは、安全や品質の保証書ではありません。